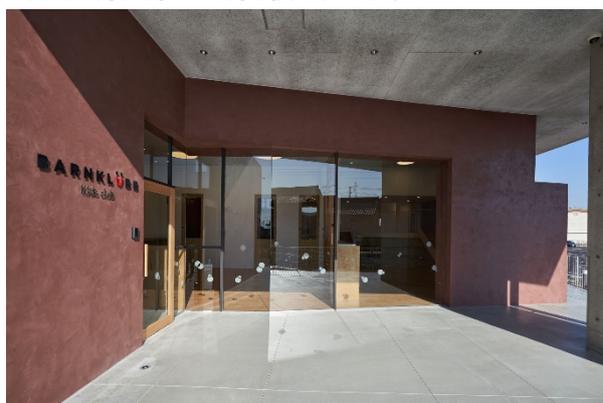


【レッドウッド弥富ディストリビューションセンター】 英語が学べる「ESR 学童スクール」第2弾！ 冬休み限定 12/23 開校

ESR 株式会社（代表取締役：スチュアート・ギブソン、本社：東京都港区虎ノ門、以下 ESR）は
レッドウッド弥富ディストリビューションセンター（以下弥富 DC）内託児所スペースにおいて、
株式会社 ECC（以下 ECC）に運営委託をし、
英語が学べる「ESR 学童スクール」第2弾を冬休み限定で開校いたします。



「ESR 学童スクール」が開校される弥富 DC 内の託児所

この度、弥富 DC 内にて、稼働前の託児所スペースを活用し、英語が学べる「ESR 学童スクール（以下本スクール）」を冬休み限定で開校いたします。運営は英語教育に定評があり学童事業も行っている ECC（法人向けサービスを行う ECC 幼児教育推進課が担当）に委託します。

本スクールは今年の夏休みに物流不動産業界では初の取り組みとして開校した ESR 久喜ディストリビューションセンター（埼玉県久喜市、以下久喜 DC）に続き、第2弾となります。

期間は12月23日から27日まで、参加費は無料。運営体制は各日・最大15名の児童に対し、講師2名（外国人・日本人）、運営スタッフ（日本人）の計3名が担当、外国人講師は常駐し、基本的なコミュニケーションは英語で行います。

ESRは「働く女性、共働き家庭の支援」や「労働力不足の解消」という社会課題解決を目指し、テナント企業へのサービスの一つとして延床10万㎡以上の物流施設にバンクラブ（BARNKLÜBB）というブランド名で、お子様たちの豊かな創造性を育む託児所スペースを整備しております。

保育所待機児童数 0 人[※]という弥富市の状況を踏まえ、今回は就学児を対象にした本スクールの開校にいたしました。弥富 DC は愛知県弥富市に 2017 年 5 月に完成した ESR の大型物流施設で、名古屋圏のみならず、関東・関西への広域配送、及び海上貨物・国際貨物の配送戦略拠点として稼働しております。

※出典：厚生労働省「保育所等関連状況とりまとめ（2019 年 4 月 1 日）」

内容・特徴

本スクールでは、ECC 独自のカリキュラムを活用し、外国人講師やバイリンガル日本人講師による英語レッスンと体幹トレーニング、久喜 DC でも好評だったロボットの組み立てやデジタルアートなど、楽しく英語力や想像力を育めるような様々なプログラムを日替わりで提供します。冬休みの宿題の時間は毎日設け、学習習慣も身につかりキュラムにしております。

今後の展開

今回は冬休みの 5 日間限定ですが、2020 年春休み以降も三大都市圏にある、託児所スペースを整備している ESR の物流施設でも展開予定です。



久喜 DC で今年の夏休みに開催された学童スクールの様子

「HUMAN CENTRIC DESIGN.」

ESR は「HUMAN CENTRIC DESIGN.(人を中心に考えたデザイン)」を基本理念に、空港やホテルのようなデザイン性が高いラウンジ、ショップやパントリー、シャワールームなどリフレッシュのための設備も充実させ、テナント企業の従業員の皆様が誇りを持って快適に過ごせる職場環境の提供に力を入れております。

弊社施設で働く方のお子様も弊社にとって大事な存在であり、「質の高い教育と保育環境」を提供したいと考えております。2019 年 6 月より運営を開始した ESR 市川ディストリビューションセンター（千葉県市川市）内の託児所「BARNKLÜBB ICHIKAWA（バーンクラブ市川）」は、英語教育を含む充実した保育プログラムと、給食・おやつに加え、おむつ代、寝具クリーニング、延長保育料までも実質無料で提供し、ご利用いただいております。

また、レッドウッド藤井寺ディストリビューションセンター（大阪府藤井寺市）では当施設の所在地から出土した「津堂遺跡」の遺物の展示スペースを設けており、「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録を記念し、現在は一般公開も行っております。

昨今は我々を取り巻く社会情勢や経済環境が移り変わり、お客様の価値観も多様化しています。これからの時代、AI やロボティクスなど技術革新も見据え、これまで以上に高性能な物流施設がますます求められています。

ESR はこの理念に則り、SDGs に留意し、地球環境、地域社会ならびにテナント企業の従業員の皆様の健康サポートにも配慮した、先進的物流施設を今後も積極的に開発し、独自の施策を講じてまいります。

【ESR 弥富 DC 学童スクール】基本情報

- 所在地：愛知県弥富市狐地 4-152-11 他
 レッドウッド弥富ディストリビューションセンター1階
- 開校期間：2019年12月23(月)から27日(金)まで
- 開校時間：8:30-15:00 ※開講は9:00~
- 延床面積：103.8㎡(31.4坪)
- 対象：弥富DCにお勤めの方のお子様・小学校1年生から
 6年生まで
- 定員：各日15名定員
- スタッフ人数：3名
 [講師2名(外国人・日本) 運営スタッフ1名(日本人)]
 ※外国人講師は常駐



久喜DCで今年の夏休みに開催された学童スクールの様子

<株式会社 ECC について> www.ecc.co.jp

ECCは1962年創業以来、様々な教育活動を展開。幼児からシニア世代までそれぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入し、確かな成果を生み出しています。語学教育を通じて、時代にあった“真の国際人”としての資質を兼ね備えた人材を育てることをECCの使命としています。

▼ECC幼児教育推進課について www.biz.ecc.co.jp/youji/

ECC幼児教育推進課は、全国の幼稚園・保育園・学童・自治体などの法人へサービスを提供する専門機関です。語学教育のスペシャリストとして、お客様の英語活動をさまざまな視点からサポートしています。札幌・埼玉・千葉・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡の全国9拠点で活動を展開、2018年7月に30周年を迎えました。主力商品である「正課英語カリキュラム」「課外英語教室」では、幼稚園・保育園向け英語教育プログラム導入施設数7年連続No.1※を達成しています。

※2012年度～2018年度主要7事業者における幼稚園・保育所向け英語教育プログラム提供施設数ベース。(株)矢野経済研究所調べ(2019年8月現在)

<ESR について> www.esr.com/jp (日本語サイト)

ESRはアジア太平洋地域に特化した戦略で挑戦を続ける物流不動産会社です。

2006年にレッドウッド・グループとしてその歩みを始め、2016年1月に現ESR役員と米国プライベートエクイティ投資会社のウォーバーク・ピンカスがESRを創設。それに伴い2016年10月に日本法人レッドウッド・グループ・ジャパン株式会社は現・ESR株式会社に社名変更。香港にグループ本社を置き、日本・中国・韓国・シンガポール・インド・オーストラリアを拠点に、お客様には先進的物流施設・ソリューションの提供を通じてビジネスをサポートし、投資家の皆様には物流不動産セクターへのダイナミックな投資機会を提供しています。

開発・所有・運営する物流施設の資産価値(AUM)は200億米ドル以上、延床面積(GFA)は1500万㎡以上。(2019年6月末時点) 2019年11月1日、香港証券取引所に上場いたしました。

日本では三大都市圏(首都圏・関西圏・中部圏)に特化した戦略で、これまでに18の物流施設を竣工、現在8プロジェクトを開発中。これからもアジア太平洋地域の21世紀の新しい経済と物流の未来のために環境と働く人にも考慮した独自の先進的物流施設とソリューションの創出に全力で挑戦し続けます。

本リリースに関するお問い合わせ先

ESR株式会社 PR担当：横山智子

Tel.03-4578-7121/090-8589-6740 □Email TYokoyama@jp.esr.com